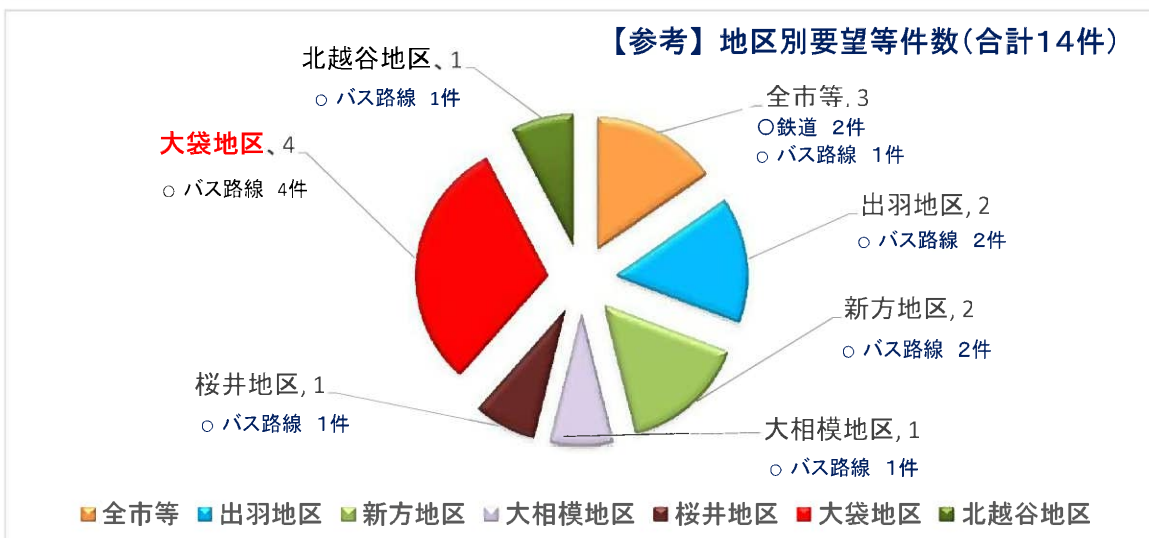
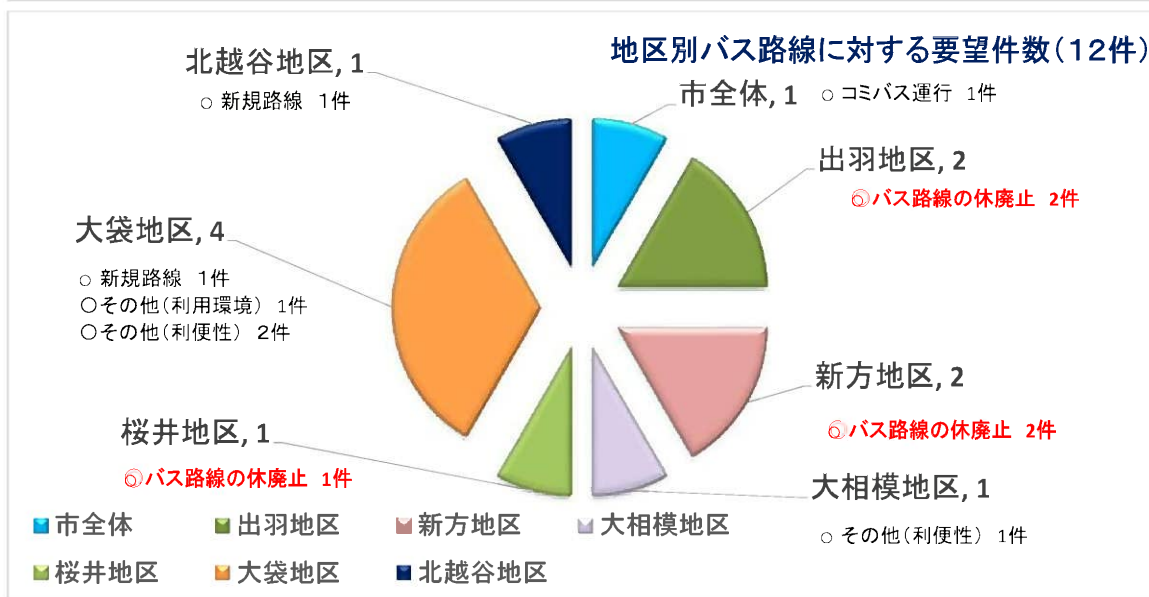
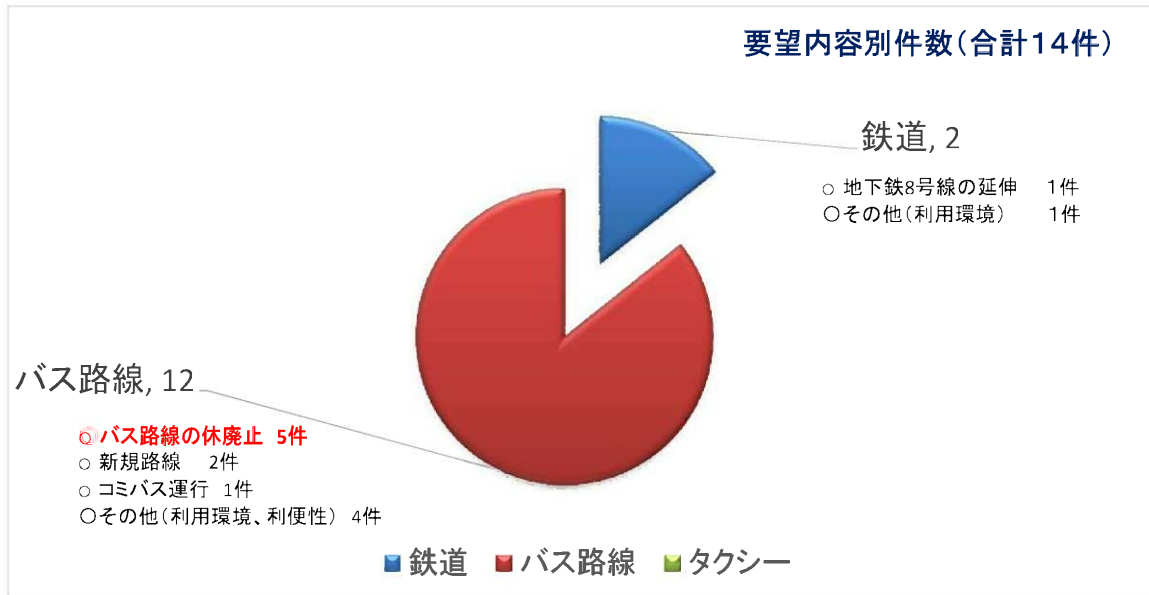


公共交通に関する市民要望一覧(令和元年11月から令和2年9月)



公共交通に関する市民要望一覧（令和元年11月～令和2年9月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
1	令和元年11月	バス路線 利用環境	せんげん台駅西口4番乗り場（埼玉県立大学方面）にベンチを設置してほしい。	せんげん台駅西口の4番の乗り場付近へのベンチの設置についてですが、このバス乗り場は、埼玉県立大学や獨協高校へのバス乗り場であるため、特に朝の通学時には多くの利用者が並ぶことから、ベンチを設置することで、乗車される方の動線に影響を及ぼすことが考えられますが、現地の状況を踏まえたうえで検討してまいります。
2	令和元年12月	バス路線 新設	大林地区にバス路線を運行して欲しい。	近年のバス路線の現状として、民間バス事業者からは、「集客性や採算性のほか、バス運転手の確保等の諸課題の解決がバス路線の開通条件になる」との考え方が示されており、新たなバス路線の開通については、現段階においては困難な状況であると伺っております。
3		バス路線 利便性	大袋駅のバス路線の本数が少なく不便である。越谷市全体についても公共交通の利便性を向上して欲しい。	大袋駅とせんげん台駅間のバス路線については、せんげん台駅に急行が止まることもあり、せんげん台駅から西大袋の区画整理までの路線がメインの路線となっております。バスの本数を増やすことにつきましては、バス事業者が採算等を考慮し設定していることや、全国的にもバスの運転士が不足していることから難しい状況であると伺っております。 また、越谷市内においてバスの路線が少ないとのことですが、市内のバス路線が少ない新方地区をモデルにして地元で協議会を立ち上げ、市も事務局として加わり新しい公共交通の検討を始めております。その取り組みを市内の他地区にも活用したいと考えております。
4		コミバスの運行	高齢者の移動手段確保等のためコミュニティバスを運行して欲しい。	本市では、関係者との協働により既存の公共交通網を活用しながら、地域のバス停、公共施設などを拠点とした持続可能な新たな公共交通の導入を検討することとしておりますので、現時点では、市が運行主体となったコミュニティバスを導入する予定はございません。
5		バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通が運行していた「蒲生駅西口～新越谷駅西口」線が廃止され不便に感じている。1日2、3便でもいいので運行して欲しい。	本市としましては、市民の足となる貴重なバス路線について、廃止になることは非常に残念だと感じており、他のバス事業者に路線を引き継いでもらえるよう、協議を行ってまいりました。しかしながら、バス運転手の不足については、他のバス事業者においても同じ状況であり、バス路線を引き継ぐ事業者が見つからない状況でございます。
6	令和2年1月	バス路線 維持対策	株式会社グローバル交通が運行していた「蒲生駅西口～新越谷駅西口」線が廃止され不便に感じている。今後、他の事業差が代わりに運行する予定はあるのか。	本市としましては、市民の足となる貴重なバス路線について、廃止になることは非常に残念だと感じており、他のバス事業者に路線を引き継いでもらえるよう、協議を行ってまいりました。しかしながら、バス運転手の不足については、他のバス事業者においても同じ状況であり、バス路線を引き継ぐ事業者が見つからない状況でございます。
7		鉄道 8号線延伸	有楽町線の延伸計画はどうなっているのか。	本市では、埼玉県、千葉県、茨城県の沿線11市町から構成される「地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会」を結成し、関係機関への要望活動等を毎年実施しております。 今後とも東京8号線の早期整備実現に向け、関係団体と連携しながら、活動してまいります。
8	令和2年3月	バス路線 維持対策	株式会社ジャパントローズが運行していた「せんげん台駅～市立病院」線が休止となっているが、なぜ休止となったのか。また、補助金は出さないのか。	利用者が少なく、採算が合わないこととバス運転手の不足により休止したと伺っています。 本市では、現時点で特定のバス路線に補助金を出す予定はありません。
9		バス路線 新設	市内の駅を経由して市立病院に行くようなバス路線を運行して欲しい。	市の基本的な考え方としては、既存にある公共交通機関を活用していただきたい。 また、民間のバス事業者からは、バス運転手の不足や高齢化の影響で現状のバス路線を維持することも難しいと伺っている。
10	令和2年4月	バス路線 維持対策	株式会社ジャパントローズが運行していた「間久里循環」線について、再度運行する予定はないのか。	バス事業者からは、利用者が少なかったため、運行を維持できなかったと伺っています。 また、バス運転手の不足や高齢化の影響で現状のバス路線を維持することも難しいと伺っています。
11	令和2年5月	バス路線 利便性	朝日自動車株式会社が運行する「せんげん台駅西口～大袋駅西口」線ができたのに、本数が少なく、バス停の位置も使いづらいため見直しをしてほしい。	当該バス路線については、「地域住民、バス事業者、市」の3社の協働により、運行が開始された経過があり、バス停の位置やルートについても、地域住民とバス事業者が協議して決めているため、ご理解いただきたい。
12	令和2年8月	バス路線 利用環境 維持対策	株式会社ジャパントローズが運行していた「せんげん台駅～市立病院」線が休止となっているが、「弥十郎第2公園入口」停留所のベンチがボロボロになっている。また、運行を再開して欲しい。	街づくりウォッチングにて、改善個所として確認されました。「弥十郎第2公園入口」停留所、上り線側に設置してありましたベンチについて、現地を確認させていただきましたところ、新たなものが設置されておりました。 バスの運行再開については、事業者等と協議を行っております。
13	令和2年9月	バス路線 利便性	朝日自動車株式会社が運行する「越谷駅～越谷レイクタウン駅」間のバス便数を充実して欲しい。	近年の民間バス事業者の現状として、集客性や採算性のほかバス運転手の確保が難しく、新たにバスの増便をすることは、現時点では困難な状況であると伺っています。
14		鉄道 利用環境	駅改札口などに筆記用具があることを表示して欲しい。災害時などに電車が止まっているかなど、内容が分かるような表示をして欲しい。	障がい福祉課において、「第5次越谷市障がい者計画及び第6期越谷市障がい福祉計画・第2期越谷市障がい児童福祉計画」の策定に向け、各団体にヒアリングした際にでた要望です。
合計		合計 14件（鉄道関係 2件、バス関係 12件）		